

平成 16 年 2 月 6 日

ソニー株式会社
出井 伸之**IT 戦略本部の今後の重要課題について**

誠に申し訳ありませんが、所用のため欠席せざるを得ないため、IT 戦略本部における今後の重要課題について書面にて意見を提出させていただきます。

1. e-Japan 戦略Ⅱ 加速化パッケージについて

e-Japan 戦略Ⅱでは、IT を活用して構造改革を進めることを標榜しました。e-Japan 戦略Ⅱ加速化パッケージにおいても、小泉構造改革の柱の一つとして e-Japan 戦略Ⅱを更に加速させ、国民にとって目に見える成功事例を積み重ね、IT と構造改革の融合を進展させていくことが重要です。

また、e-Japan 戦略Ⅱの大きな特徴の一つは、従来の各府省ごとの縦割りの取組みに、7分野の先導的取組みを通じた横のプラットフォームの仕組みを入れたことです。電子政府への取組みや評価専門調査会の活動においても、この視点を常に持ち続けることが肝要であると考えます。

2. インターネットの今後の在り方について

今や生活に不可欠のものとなったインターネットの目覚ましい発展には、民間／市場競争主導という特徴が大きな役割を果たしました。このことは、電力、水道、電話などの従来のライフラインが、公的部門による資本の集中投下という特徴を持って発展してきたこととの大きな違いです。また近年、これらのインフラも、次第に民営化や競争原理導入の方向に向かっています。

本格的なネットワーク時代の到来を迎え、今後我々は民間／市場競争主導という特徴・利点を引き続き活かしながら、同時に、生活・産業・社会基盤としてのインターネットを確立していくことを考えなければなりません。今すぐに明確な答えが導き出せる問題ではありませんが、ネットワーク時代の政府の役割を再定義し、どのように官民が役割分担して安心・安全なインターネットを構築できるかを、IT 戦略本部の重要課題として検討することを提案致します。政府は民間の市場競争のための環境整備を基本とした上で、技術革新の推進、教育や啓蒙活動、情報公開と事後チェック、ユニバーサルサービスの確保等、総合的な対策を府省横断的に推進すべきと考えます。

具体的な検討課題としては、例えば、①固定インターネット網、ワイヤレス網、デジタル放送網などの相互利用の長期的な観点からの検討、②競争条件に留意しつつ安心・安全なバックボーンの整備とピークトラフィック対策（制御技術と施策）の検討、③目的や規模、社会的な影響などに考慮した新たなネットワーク階層の考え方と各階層での競争形態についての検討、などがあると考えております。

以上